

令和 6 年 2 月 20 日

足立区立加平小学校
学校長 倉島 敬和 様

足立区立加平小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 丸山 悦男

令和 5 年度 学校関係者評価書

1. 学校経営計画・自己評価書全般について

「1 学校教育目標」「2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像」「3 学校の現状及び前年度の成果と課題」「4 重点的な取組事項」「5 令和 5 年度の重点目標」「6 まとめ」と、解り易く纏めて頂いた自己評価書です。

目標達成に向けての、達成基準、具体的な方策、実施結果、コメント・課題、達成度と、しっかり分析されています。また、各取組事項の課題を明確にした上で、きめ細やかに実行されている様子がよくわかります。

限られた時間の中で、大変なご苦勞があったと思いますが、学校長のもと教職員のご尽力により、目標(取組)の達成度でも、十分な成果を上げていますので高く評価したいと思います。今年度も「笑顔輝く加平小学校」を目指し、教育目標である「思いやりのある子」「よく考える子」「たくましい子」の実現ができたのではないのでしょうか。

保護者や地域の方々からの学校への期待は大きいです。加平の歴史と伝統を受け継ぎ、学校・保護者・地域の連携を強化しながら、「笑顔輝く加平小学校(みんなが仲のよい学級・学年・学校)」の実現を推進していただけの事を期待しております。

2. 令和 5 年度重点目標の「実施結果」や「達成度」について

重点的な取組事項－1 人権と生命を尊重する教育

今年度の成果目標「自己肯定感・思いやりの心を育てる」達成基準である児童アンケートで「楽しく学校生活を送っている」90%以上を 94.1%達成の結果にとっても安心しました。ただし約 30 名の児童が「楽しくない」と思っているようなので理由がわかるようでしたらお聞きしたいです。

「読書活動の充実」「なかよし標語」「あいさつ運動」「道徳教育の充実【改善】」「児童集会の充実」各取組項目の方策が結果に出ているのだと思います。

挨拶活動を通年で取り組んだことにより、適切な声で挨拶する子供が増えてきた。立ち止まって挨拶する子や廊下ですれ違う時に会釈する子供も増えてきている。子供たちの豊かな心を醸成されていると思います。

挨拶は「おはようございます・こんにちは・さようなら」だけではなく、挨拶以外の「ありがとうございます・ごちそうさまでした」など感謝の言葉や「ごめんなさい・すみません」など沢山ある事を意味も含めて児童に理解して欲しいです。声に出して言う事は健全な心を育てると思います。

地域防犯効果としても挨拶が重要視されています。犯罪を未然に防ぐ効果があると言われていています。一方全く逆の考え方で、「知らない人とは話をしない」と考えられている家庭も少なくありません。防犯教育の視点から挨拶を控える場合もあります。挨拶に関する考え方もご家庭によってそれぞれです。指導には共通認識のもとで行って下さい。

次年度においても、コメントにあるように今後も友だちや先生とのかかわり合いを通して、すべての児童が楽しい学校生活であるように努めていただける事を期待しています。

めざす児童像の「自分に自信をもち、友だちを大切にできる子」「めあてをもち、意欲的に学習する子」「あきらめない強い心とやり遂げる体力のある子」とは、自己肯定感をしっかり持っている子だと思います。

小学校に入学する頃から、自分の能力や性格を、他者との比較を通して評価するようになります。人と比べて「走るのが遅い」「字が上手にかけない」など、成長とともに自分自身と友だちとを比較するようになっていきます。その結果、自信をなくしたり、劣等感を抱いたりするようになり、これが自己肯定感の低下につながる可能性があると考えられるそうです。自己肯定感が低い子どもは、自分に自信が持てないため、トラブルや困難に出会っても立ち向かうエネルギーが湧いてこないことがあります。

自己肯定感を育ませるために、自分の得意なこと・好きなことに取り組める場を設定する。ひき続きお願いいたします。好きなことをみつけるためや個性を伸ばすためにも、「興味や関心を引き出す」取組も必要だと考えます。コンプレックスの解消に繋がりやる気を出させると思います。

規律ある行動ができるよう、生活指導の基本方針に掲げる「み・そ・あ・じ」を中心に取組、生活指導の充実を図っていただけるようお願いいたします。

加平小の児童はのびのびと歌う子どもが多く、歌う姿が素敵です。合唱団の活動が全体に良いシナジーをもたらしています。

重点的な取組事項ー2 基礎的・基本的な学力の定着（学力向上アクションプラン）

A 今年度の成果目標

「基礎的基本的な学力の定着」では、達成基準を区学力調査目標値通過率 80%以上とし、結果通過率では、国語 87.92%、算数 86.0%、全体として 86.5%で達成されました。個に応じた指導を充実・推進した結果です。また、授業力の向上が図れているのだと思います。

目標値に達していない児童に対してのケア・対策を講じているとは思いますが、一人一人の状況を把握して早い段階での改善が急務と感じます。子どもの学力等に影響する要因として「家庭・地域の環境」「児童の生活習慣や関心・意欲・態度」「学校の教育指導」等が考えられます。協議会でも対応策等の意見交換が必要な問題だと認識しています。

また協議会としては、足立区がすすめている「第2期 未来へつなぐ あだちプロジェクト」についてレクチャーを受けるのも良いかと思えます。

B 「目標実現に向けた取組み」アクションプラン

学力向上を図る「アクションプラン」は、各プランに必要な措置を講じ(改善を図り)全て目標が◎で達成されました。具体的な取り組み内容(誰が、何を、どのように)を検討・実施していただいた結果です。教職員の並々ならぬ努力があったからだと思えます。ありがとうございます。一方では、アクションプランの中で、「朝学習(15分)」「放課後補習教室(30分)」は、通常の授業以外での実施となります。指導されている先生方への負担が懸念されます。

「家庭学習の手引きの活用」の達成目標が宿題提出率90%以上に対して、提出率91.0%(前年度93.1%)と安心しました。コメント・課題にあるように、向上ウィークのみでなく、日々の取り組みとすることで、意識を高めていく。期待しておりますが、各家庭での理解・協力が必要な事とも思えます。

「授業力向上」については、教員の様々な取組みで、授業力・指導力の向上に努めていられる事がよくわかりました。

東京都教育委員会から「学校における働き方改革」について令和5年9月5日に公開されています。

子供たちに、効果的な教育活動を行うためには、教員が健康で生き生きと働くことが大切です。子供たちの笑顔のため、教員が子供たちと向き合うための時間や、授業の質を高めるための授業準備の時間を十分に確

保できるよう、学校における働き方改革に対する皆様のご理解とご協力をお願いします。

保護者・地域の皆様へ「教員が子どもたちと向き合う時間を確保するため学校における働き方改革へのご理解をお願いします！」の書類内容を協議会委員には共有したいと思います。

教員の勤務の現状には、只々頭が下がるばかりです。

重点的な取組事項－3 体力向上に向けた取組の推進

今年度の成果目標である「健康な体づくり」の達成基準は、東京都体力・運動能力調査結果 握力・柔軟性・瞬発力・投力の4種目を都の平均に近づけるとしていました。実施結果(上回った学年/6学年(男女別))は、握力(2/12)・柔軟性(0/12)・瞬発力(9/12)・投力(0/12)で都平均を瞬発力以外は下回る結果です。

文部科学省が行っている「体力・運動能力調査」によると、現在の子どもの体力・運動能力の結果をその親の世代である30年前と比較すると、ほとんどの項目において、子どもの世代が親の世代を下回り、身長・体重など子どもの体格は、逆に親の世代を上回っているとの事です。体格が向上しているにもかかわらず、体力・運動能力の低下が深刻な状況であることを示しているといえます。

学校全体として握力・投力・柔軟性に課題があると認識した上で、来年度において運動時間の確保と運動の日常化を目指し、日々の取組を工夫改善し向上を図っていただける事に期待しています。

一方では、学校での体育授業等の限られた時間の中で体力・運動能力の向上には限度があります。協議会委員の中でも色々な意見がありますので、課題として検討したいと思います。

体力・運動については、個人差が出る分野です。体の成長速度もバラバラなので、同学年の中でも体格差があります。9歳～12歳頃は、「ゴールデンエイジ」と呼ばれています。運動神経が良くなる・スポーツが上手くなる為の大切な時期としてよく使われています。スポーツだけでなく楽器等繊細な指使いを必要とされるもの等も当てはまり、何か上達するのにとても重要な時期です。自分が思ったように体を動かせるようになったり、ちょっとしたきっかけで、今まで出来なかった事が出来る様になったりします。子供たちにとっては、楽しんで運動ができる環境づくりが大切ですので、あまり数値に囚われる必要はないのかと思います。

「食育」「保健指導」については、食育指導の実施、保健指導の実施を来年度も充実したものにしていきたい。

重点的な取組事項－4 地域の特色にあった魅力ある教育活動の展開及び持続可能な学校運営の実現

「魅力ある教育活動の展開」各学年が地域にある教育資源(人・施設等)を活用した授業を実施する。「伝統的な言語文化に関する指導」「ろくまる」「タブレット端末を活用したICT教育の推進」「体力・向上」各取組みは、協議会委員の多くから良いと評価されています。協議会としても地域と連携できる取組みを考えていきたいと思います。ひき続き、魅力ある活動をお願いいたします。

「タブレット端末を活用したICT教育の推進」に関しては、保護者ではない協議委員には馴染みが薄いので、どの様に活用されているかを知りたいです。

2019年12月文部科学省「GIGAスクール構想」において、“一人一台端末は令和の学びの「スタンダード」多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成出来る教育ICT環境の実現へ”文科省より令和2年度末までの一人一台端末の配布(実現)とのことで、足立区も令和3年9月頃には全児童・生徒に配布完了したとお聞きしています。足立区の端末機器はクロームブックを利用し、子供一人一人にグーグルアカウントを付与されているとの事です。ここまでも、わからない協議委員は少なくないのではないのでしょうか。授業の改善、効率を図る為に利用をされていると思いますが、実際に各科目でどのような利用をするのか、機器としての活用方法、家庭での通信環境は

千差万別だと思しますので、問題点や改善点等についてご教示いただけると良いと思います。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

評価書にも明記されているように、「学校、家庭、地域にはそれぞれの役目があります。学校は、子供たちに学力や体力をはじめ、人格形成の基礎を身に付けさせていく役目があります。また、子供たちの基本的な生活習慣が身に付くようにして、学習効果を高めていくことも役目です。この基本的な生活・学習の習慣を身に付けることは学校だけでも家庭だけでもできません。互いが同等な関係で、それぞれの役割を果たす事が重要です。基本的な生活・学習の習慣の土台は家庭であり、家庭の協力が不可欠です。「躰」「健康管理」「家庭学習」「社会の規範(きまり)を守る」などは家庭の役目です。子供たちに「忍耐強さ」「根気強さ」「自制心(心の強さ)」「意欲」「誠実さ」「好奇心(興味・やる気)」「社会性」「協調性(思いやり・協力)」「人とかかわる力」などの力を育てていくことです。家庭で基盤をつくり、学校で知識や知恵を身につけ、地域で実践していくような連携がとれることを願っています。学校・家庭・地域が互いに同じ方向を向いて、子供に働きかけることが大切です。「子供たちのために」ともに力を合わせてまいりましょう。」この内容を受け止め今後の活動に努めます。

学校での様々な取組を家庭(保護者)が理解・協力しなければ、効果が上がらない事が多分にあると思います。学校からは色々な取組みを周知していますが、理解不足や認識違いの保護者がいるのも事実です。

現在、学校から C4th Home&School にて連絡事項・学校の様子など様々な情報が送信されています。毎月送信されている【学校だより】では、夏休み直前号『夏休みを迎えるにあたって』、第 6 号『学校教育と家庭教育』、第 7 号『子どもたちの人権感覚を高めたい』等、保護者へ読んで欲しい内容が多く発信されています。

小学校は児童の教育のための施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有することが多く、防災・保育・地域の交流の場等、様々な機能を併せ持っています。また、学校教育は地域の未来の担い手である子供たちを育む営みでもあり、まちづくりの在り方と密接不可分であるという性格も持っています。学校が持つ多様な機能にも留意し、保護者や地域住民の十分な理解と協力を得て「開かれた学校づくり協議会」で丁寧な議論を行いたいと思います。

3. その他

本年度も、各取組を実施し目標を達成させるのは大変なご苦労があったと思います。教職員の皆様には感謝申し上げます。

教職員は業務が多岐にわたります。突発的な事象の対応もあり、とてもストレスが溜まると思われれます。「学校における働き方改革」の取組例にもあります、「学校行事の精選など」「外部の力の活用」等で、少しでも負担が軽減出来る様に、協議会はもちろん、保護者・地域の方々が協力する事がマストです。先生方とより良い関係を築く為にも、先生方との意見交換を行いたいと思います。

東京都市計画事業六町四丁目付近土地区画整理事業が平成 9 年度より施行され、区画整理等の開発で様相が変わりました。住人の増加(加平小学校通学区域人口 7,977 名)、六町駅利用客の増加(2023 年 12 月の 1 日平均乗降数 約 16,800 人)、また、六町地区の環七北通りの開通で学区域の交通量増加が見込まれます。児童の安全対応に苦慮しないよう、協議会委員も現場の状況把握に努めたいと思います。

また、学区域内の各町会では区画整理により加入率が減少され活動自体が縮小されていると思われれます。町会の活動内容として、防犯、防火・防災、交通安全活動、青少年の健全育成、まつり等の行事開催、スポーツ活動等があります。各町会と情報交換や活動の連携により、加入促進を図りより住みやすい街を築く事が

必要だと考えます。

今回評価書作成にあたり協議会委員からの学校関係者評価資料の提出が少なかった事に危惧しています。足立区教育委員会の資料では、「開かれた学校づくり」は、学校・家庭・地域の皆様が力を合わせて地域性を活かした特色ある学校活動を進め、新しい時代を切り拓く児童・生徒の「たくましく生き抜く力」や「豊かな心」を育てていく取り組みです。開かれた学校づくり協議会の目標と機能を、3つの目標(①地域に根ざした特色ある学校づくり②学校支援活動の充実③家庭と地域の教育力の向上)と、5つの機能(①協議機能②評価機能③支援機能④調整機能⑤実施機能)としています。協議会委員の皆様には、協議会の取り組みを確認して頂き、加平小学校の教育目標を達成するために、協議会としての活動に努めなければならないと思います。